

「産婦人科漢方研究のあゆみ」

投稿規定

学術論文の投稿は、原則として本会の会員に限り、投稿論文は他誌に未発表のものに限ります。

1. 原稿は、原則として当用漢字と現代かなづかいを使用して下さい。学術用語は、日本産科婦人科学会および日本医学会の所定の様式に従って下さい。

論文の形式は原則として、はじめに「タイトル（日本語と英語の併記）」、「氏名（日本語と英語の併記）」、「所属（日本語と英語の併記）」を記載し、次に、「抄録」、「はじめに」、「対象と研究方法」、「結果」、「考察」、「引用文献」の順で記載して下さい。

2. 1) 図、表および写真は、別紙に添付し、図1、表1、のように順番を付し、原稿の本文右側の欄外に挿入すべき位置を明示して下さい。

2) 写真は台紙に貼付し、上下を明示して下さい。

3) 図、表および写真の説明は簡潔にし、表は上方に、図および写真は下方に記して下さい。

3. 単位、記号は m, cm, mm, μ m, g, mg, μ g, L, mL, °C, pH, N, M, Ci, mCi, μ Ci などとし、数字は算用数字を用いて下さい。

4. 薬品名は一般名を用い、商品名は一般名の後に「一般名（商品名®）」のように記載し、漢方製剤は原則として次のように記載して下さい。

例：葛根湯（TJ-1）7.5g/日、分3

5. 文献の引用は論文に直接関係のあるものにとどめて下さい。本文中では引用部位の右肩に文献番号^{1), 2)}・・・をつけて下さい。なお、著者名を記載する場合、筆頭著者のみを記して下さい。

6. 論文末の文献欄では、文献を本文引用順に並べ、文献番号を1) 2) 3)・・・とつけて下さい。本邦の雑誌名は各雑誌により決められている略称を用い、欧文誌は Index Medicus によって下さい。文献には、論文の表題を入れ、次のように記載して下さい。著者が複数の場合は、筆頭著者だけを記し「～・他」、「～, et al」と付して下さい。

例 和文雑誌

1) 吉村仁志：輸液療法—新しい知見.. 小児内科 2006；38：1000-1003

欧文雑誌

2) Van Stuijvenberg M, *et al* : The duration of febrile seizures and peripheral leukocytosis. *J Pediatr* 1998；133；557-558

和文書籍

3) 土田哲也：全身性エリテマトーデス. 近藤啓文（編），膠原病診療—専門医によるベストアドバイス；困ったときにどう考えるか. 第2版，診断と治療社，2000；32-33

欧文書籍

4) Oikarién A, *et al* : Scleroderma and paraproteinemia. In: Ormsy OS, Gordon W(eds), *Histopathology of the Skin*. 3rd ed, JB Lippincott, Philadelphia, 1960；281-284

7. 論文の採否は，掲載欄（原著、総説、症例報告など）等、査読の上、編集委員会で決定いたします。また原稿は，編集方針に従って加筆，削除，修正などを求める場合があります。

また締切期日を過ぎた論文はプロシーディングとして掲載し査読を受けません。

8. 校正は初校の段階で著者が行います。ただし，組版面積に影響を与えるような改変や極端な組替えは認められません。

9. ご執筆にあたり，ワープロ・パソコンによる CD-R 等で入稿の場合は，使用されましたソフト名，機種名を明記してプリントアウトしたものと一緒に送ってください。また E-mail で入稿の場合も，後日プリントアウトしたものをお送り下さい。

10. 別刷は原則として 50 部まで無料とします。

11. 本誌に掲載された論文の著作権は産婦人科漢方研究会に帰属します。